

【交換留学体験記】

フロリダ大学留学 定期レポート 2023年 3月

医学部医学科4年

廣兼和沙

留学して3か月目となりました。今回はフロリダ大学生活についてお伝えしようと思います！



1. フロリダ大学について

フロリダ大学は今年、全米の公立大学で第5位になった、学問・スポーツともにトップレベルの大学です。フロリダ州の北、ゲインズビルという町にあります。町の規模はあまり大きくありませんがショッピングセンターやモール、ダウンタウンがあり普段の買い物には困りません。大学の敷

地は本当に広いです。ラグビーのスタジアムや体操、バスケットボールの試合が行われる体育館があります。試合のある日には一般の人が大型バスで観光に来るなどスポーツ観戦が盛んです。

2. 履修登録と授業について

1月9日からSpring semesterが始まりました。履修登録は11月から始まりますが、私の場合はワクチンの書類の関係で大学につくまで登録ができませんでした。クラスは先着順になるので早めの登録をお勧めします！履修登録に使ったウェブサイトは、

- ①One.ufのClass registration ページ
- ②UF liberal arts and sciences に載っている学部情報
- ③Rate my professor (教授の評価サイト)
- ④シラバス

です。①で授業の種類や空き状況を確認し登録することができます。授業は基本的には②の Liberal arts and science 学部内のコースから選びますが、1つまでなら学部外の授業も選ぶことができます。③は取りたい授業を絞る時に、実際に過去に受講した学生の口コミを見ることができるといえるサイトです。先生についての意見が書かれており、課題の量や成績のつけ方などが参考になります！④は実際の授業内容を確認するときに使いますが、履修登録の時期にはまだ実際の学期のシラバスが発表されていないこともあるので、昨年の内容を参考にしました。

私が履修している授業を紹介します！

ENC1101

英語のライティングの授業です。学期中に合計で6000wordもの文章を書くという内容です。フロリダ大学の正規学生には卒業までに基準の作文量を満たす授業を履修するというルールがあり、このクラスはとても人気で外部から講師を呼んで開講しているほどです。授業では基本的に文の構成についてディスカッションをします。課題で毎週のようにEssayを書き採点されます。私は長い英文を書いた経験が無かったのでとても苦労していますが、何度も書き直してベストの内

容を提出すれば基本的に満点がもらえます。大学に無料のWriting Studio という英作文を添削してもらえる場所があるのでよくアドバイスを貰いに行きます。ライティングの能力は身に付けておいて損はないと思います！

ANT2000 General Anthropology

文化人類学です。人類について生物、倫理、文化など色々な側面から学びます。先生の講義を聞く時間が大部分ですが、学生同士でディスカッションする時間もあります。

WST3335

Women's Studyという、女性の権利やジェンダーについて扱う学部の授業です。日本では中々勉強できない、アメリカならではの授業だと思います。毎週映画を見る課題が出され、その内容について授業で考察します。クラス構成は8割が女子の学生で2割は男子学生とLGBTQの学生です。この授業で驚いたのは、先生が進行に苦労するほど学生が多く発言することです。アメリカの学生は性別にかかわらずジェンダー問題に関心を持ち、自分の経験を共有することにためらいがありません。むしろ授業は自己表現の場ととらえているようです。とても刺激になる授業です。

REL3082 Global Ethics

世界の貧困、戦争、経済格差、健康格差について倫理の考え方を基にディスカッションする授業です。この授業も生徒の発言が主体となって動いていきます。将来国際的な医療現場に関わりたいと思っているためこの授業をとりました。倫理の基礎知識が無いため、授業内容の理解に苦労しますが、先生の話声を録音する許可をもらってどうしても分からない部分は後で聞きなおしています。

3. 一日の過ごし方 平日編

朝8時半から授業がある日が多いので、朝ごはんはシリアルやバナナなど簡単なものをとるようになっています。寮から教室までは歩いて15分ほどです。授業ではなるべく友達か先生の近くに座って、授業のついていけなかった箇所を助けてもらいます。お昼ご飯は自分で作って持っていくか、Krishna lunchという6ドルほどの食事を配っている場所があるのでそこに行きます。午後は授業がないので図書館で予習、復習、課題をします。夕方からは日本語クラブに行ったり、スポーツ観戦をしたり大学のイベントに参加したりして過ごすことが多いです。できるときはなるべく寮で自炊をするようになっています。

4. 一日の過ごし方 週末編

土日には授業がないので、旅行や友達との遊びの予定を入れています。2月には同じ留学生何人かでオーランドにあるUniversal Studiosに遊びに行きました。St. Augustinというアメリカで最も歴史の古い、ヨーロッパの街並みが残っている場所にも行きました。フロリダ大学にはNavigatorsという、交換留学生とアメリカ人の学生をマッチングするサークルがあり、旅行などのイベントが開催されています。参加するとたくさんの学生と知り合えてコミュニティが広がります。

日曜日には地元に住んでいる知り合いの家族と教会に行くこともあります。日本では体験することがなかった習慣なのでとても新鮮です。食料品の買い物に連れて行ってもらって自炊のアドバイスをもらったり、逆に私が日本のご飯を作って紹介したりなど、楽しく過ごしています。



5. 留学3か月目の感想

ここまではアメリカ生活の良いところや楽しいところに触れてきましたが、授業が始まった当初は英語についていけずとても心細い思いでした。また、同じ寮に住んでいる他の国から来た交換留学生は英語がすらすらと話せるのに私の英語は伝わらないなど、悔しい思いもしました。ただでさえ慣れない留学生活で他の人と自分を比べていたら、精神的に辛くなってしまいます。自分のやりたいことに全力で集中して過ごすのが留学生活を楽しむコツだと思います。特にアメリカは個人の生き方を尊重して、違うことをしている人を批判しない(他の人をあまり気にかけない?)人が多いように感じます。私もそれを見習いたいと思います。実は留学する前に、アメリカでやりたいことのバケツリストを作ってから渡航しました。今のところリストの項目60個のうち、まだ10個しか達成できていませんが、残り50個をクリアしていく中でどんな出会いと成長があるのか、今から楽しみです。